

与謝野町の教育

～明日の人材を育てる教育文化のまちづくり～

与謝蕪村の名句「夏河を 越すうれしさよ 手に草履」に詠まれた野田川が、大江山連峰から天橋立を望む阿蘇海まで加悦谷を緩やかに流れるのが、私たちの与謝野町です。

そして本町の第2次総合計画「人・自然・伝統 与謝野で織りなす 新たな未来」の言葉のとおり、人を大切にする、豊かな自然と悠久の歴史や丹後ちりめんに代表される伝統を大切にする、未来への可能性に満ち溢れた町が与謝野です。

子どもたちが生きる未来社会・Society5.0に向けた確かな知識、柔軟な思考や感性を育むための学校教育。人と人の確かな絆がある地域社会や人生100年時代を幸せに生きていくための文化・スポーツ活動などを進める社会教育。

これらの重要性は一層高まるものと確信します。与謝野町、町教育委員会、組合教育委員会の取組をご覧ください。

教育長 長島 雅彦

TOPIC!

～笑顔いっぱい 元気いっぱい～
つばきこども園 開園

与謝野町立つばきこども園 開園式



旧かやこども園と旧桑飼保育園を再編した「つばきこども園」が令和3年12月に開園しました。園児たちは、楽しみにしていた新しい園舎で、新しい友だちと元気いっぱい遊んでいます。

「ピカピカだね～」 「つばきこども園広いね～」と友だちと探索を楽しみながら、園内のルールを決めたり、新しい友だちの名前を覚え、一緒に遊んだりして、少しずつ新しい生活にも慣れてきています。主体的な活動が楽しめるよう環境を整え、笑顔いっぱい、元気いっぱいなこども園を目指します。

与謝野町では、京都府教育振興プラン並びに与謝野町教育大綱を踏まえ、「ふるさと与謝野」がもつさまざまな特色を活かした与謝野町ならではの教育を進めるとともに、自信と思いやりにあふれ、創造的に未来を開拓する人材を育てる教育を推進します。詳細は、与謝野町教育委員会のホームページに「学校教育の重点」、「社会教育の重点」を公開していますのでご覧ください。



取組 1 各校（園）での特色ある学校づくり

令和3年度の特色ある取組の一部を紹介します。

加悦中学校

ふるさとの将来を考える「探究学習」

3年間の総合的な学習の時間をとおして、ふるさとの歴史を知り（1年「ふるさと俳句ウォーキング」）、ふるさとに触れ（2年「職場体験学習」）、ふるさとの将来を考える（3年「未来への提言」）学びに取り組んでいます。



江陽中学校

「Brush Up Our Communication Skills」

コミュニケーション能力の向上を目指して、第一線で活躍されているプロの方からの講話学習（新型コロナの影響でオンライン形式を採用）を実施しました。また、その実践の場として、文化祭で保護者の方々のお出迎えや案内を生徒が行いました。今後もさまざまな場面でコミュニケーションの実践を行っていきます。



橋立中学校

「ふるさと」に目を向けて…

「ふるさと俳句」と「ふるさと発信」が本校の2つの柱です。その一環として本校区にあたる与謝野町・宮津市の両首長をお招きして、「ふるさと」について講話をしていただき、3年生の生徒と意見交換をしました。



加悦小学校

「誰もが安心して学ぶことができる居心地のよい学校」を目指して

再編2年目。「つながろうかやっこ」を合言葉に教育活動を進めています。毎学期、全校でソーシャルスキルトレーニングに取り組み、相手の気持ちに寄り添い、自分の思いを伝えることができる児童を育てています。



岩滝小学校

意欲に満ち、主体的・対話的で深く学ぶ児童の育成

令和2年度に引き続き、児童から生まれた疑問を「問いづくり」に生かすこと、予想や仮説を立てたり、地域から学んだりすることで、学習を「自分ごと」に引き寄せることを大切にされた社会科授業の研究を進めています。令和3年度は、ICTを効果的に活用する授業づくりにも取り組みました。



三河内小学校

自分の考えをもち、ともに学び合う児童の育成

学習の見通しをもち自分の考えをもつこと、伝え合うことができるよう、日々の授業の中でペアや全体での交流活動を行っています。学級の中で一人一人が認められることで主体的に学ぶ意欲へとつながり、ともに学ぶ楽しさを味わうことにもつながっています。



市場小学校

人と人が豊かにつながり 意欲あふれる学校を

テーマに基づく話し合い活動（トークタイム）を楽しみながら、意見や思いを伝える力・受け止める力を豊かにします。考えが深まっていく楽しさを「もっと学びたい」という意欲の高まりにつないでいく授業を目指しています。



山田小学校

人を思いやる心、人とつながる力を育む

月に1度、児童会の各委員会が主催するスマイル集会を行っています。「学習発表会インタビュー」や「修学旅行おかげで6年生」「友だちの好きなものを知ろう」等、工夫を凝らした活動をとおして、全校児童が楽しくつながっています。



石川小学校

友だち大好き、石川大好き、ともに生きる石川の子

友だちとのつながりを意識した活動を継続しています。まずは自分の考えを持って交流し、深めることを目指します。また地域の良さに触れる機会も大切に、ともに学び成長する子どもを育てます。



つばきこども園

いっぱい遊ぼう！いっぱい笑おう！

令和3年12月に旧かやこども園と旧桑飼保育園が再編し誕生した園です。たくさんの友だちと関わり、主体的に生活を進めていけるような環境をつくり、子どもも保護者も職員も「一緒になって良かった。」と思ってもらえるような園づくりに努めます。



かえでこども園

子どもたちの「おもしろい」「なんだろう」「やってみたい」と感じる心を大切に、主体的な遊びで育つ子どもを目指して子ども主体の保育に取り組み、毎日の遊びや五感をとおした体験活動を大切にしています。遊びをとおして思考を巡らせ、想像力を発揮し、体を使って協力したり、共有したりして友だちと関わる・伝え合う力を育てていきます。



のだがわこども園

自分で考えたことを実現することで達成感を味わう

「子どもたちが自分で考えたことを実現することで達成感を味わう」活動を大切にしています。失敗しても繰り返し挑戦する気持ちや、友だちとの関わりの中での主体性を育てています。



取組2 特色ある取組より

* 浴衣着付け体験学習

「地場産業である『丹後ちりめん』に関する歴史を学ぶとともに、浴衣を実際に身に付け礼儀・作法（立ち振る舞いや挨拶等）について学ぶことをとおし、郷土を見つめ直す機会とし、郷土を愛する心を育む」をめあてとし、着付け体験教室を行いました。講師をお世話になった和装教室国民推進会議宮津・与謝支部代表 牛田育絵様からは、「わが町ならではの取組をもっと広げてほしいという素晴らしい感想がありましたよ。」という嬉しい報告をいただきました。浴衣の寄付や着付けの指導等、地域の皆様のご協力に感謝いたします。



* タブレットの活用

「全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現」が求められる中、令和3年度の4月に「一人一台タブレット」が配置され、授業や行事の中で活用を進めています。活用にあたっては、情報モラルについて指導を入れながら、オンラインによる双方向授業など、多様な学習の形態や学習機会を工夫し、児童・生徒の学習意欲につなげています。



取組 1 子どもたちが健やかに育ち、学び続ける地域社会を目指します

- (1) 青少年育成会の活動や、公民館での活動をとおり、学校教育と連携しながら、子どもたちの健全育成に努めます。
 - ・ 青少年育成会での活動（子ども発表会等）
 - ・ 公民館における青少年健全育成の取組
- (2) 子どもたちに、さまざまな体験活動の場を提供するとともに、学習活動への支援を行います。
 - ・ 放課後学習支援事業、イングリッシュキャンプ 等
- (3) 高校魅力化推進事業に取り組みます。
 - ・ 魅力化コーディネーターの配置
 - ・ スポーツ活動への支援、探究学習への支援 等
- (4) 地域の方による学校活動への支援を応援します。



コロナ対策を行いながら各種事業を実施
（上／子ども発表会）
（下／加悦地域公民館自然体験教室）



取組 2 さまざまな「まなび」や文化活動を進めます

- (1) 誰にとっても身近で大切な「人権」について学習を深めていきます。
 - ・ 人権問題を考える集いの開催
 - ・ 公民館における人権講座の開催 等
 - ・ 標語、ポスター、作文の募集
- (2) 図書資料のさらなる充実を目指すとともに、絵本の読み聞かせやブックスタートなど、本に親しむ活動にも取り組みます。
 - ・ 絵本の読み聞かせの実施
 - ・ 北部七市町連携により図書館利用カードの発行範囲を拡大
 - ・ 図書資料の充実 等
- (3) 生涯のさまざまな場面における学習を支援するとともに、文化の薫りあふれる町を目指します。
 - ・ 公民館活動の推進
 - ・ 生涯学習講座の開催
 - ・ 文化協会への支援、音楽祭等の開催
 - ・ 高齢者、障害者教育の充実 等
- (4) 地域ゆかりの与謝蕪村や与謝野鉄幹・晶子への理解を深め、郷土への誇りを醸成します。
 - ・ 蕪村顕彰全国俳句大会
 - ・ 小中高等学校俳句教室
 - ・ 令和のBuson俳句大賞
 - ・ 江山文庫の運営 等



初の試み！屋外での絵本作家ライブ



知遊館音楽会



宮津ロータリークラブから本を寄贈していただきました（3年連続）



2年ぶりに実施できた俳句大会表彰式

取組3 スポーツをととした成長を応援します

(1) 町民一人一人が年齢や適性に応じて、生涯に渡ってスポーツに親しめる環境整備に取り組み、健康で生き生きとした生活を送ることができる充実した生涯スポーツ社会の実現に努めます。



コロナ禍でも運動を



スポーツ推進委員の活動



いきいきウォーキング

(2) あらゆる方々がスポーツを通して、心身の健康、町内外の交流、競技力の向上が図れるように、さまざまな事業に取り組みます。

- ・ 総合型地域スポーツクラブへの支援
- ・ 障害者スポーツへの支援
- ・ いきいきウォーキングの実施
- ・ スポーツ協会及びジュニアスポーツ連絡協議会への支援
- ・ 町民へのスポーツ指導、研修会の開催 等

(3) 関係団体と連携しながらスポーツ事業の推進に取り組みます。

- ・ よさの大江山登山マラソン大会
- ・ 与謝野町駅伝競走大会
- ・ 各種スポーツ大会 等



中止が相次いだ各種大会

取組4 文化財の調査・研究、保存、活用をします

(1) 多様な分野の文化財の調査・研究を行い、新たな知見で地域の歴史文化を紐解きます。

- ・ 遺跡調査
- ・ 文献資料調査
- ・ 伝承伝説調査
- ・ 民俗調査
- ・ 建物調査
- ・ 美術工芸品調査 等

(2) 文化財的な価値の高いものは、後世に受け継ぐため、文化財指定等を進め、保存します。



重要伝統的建造物群保存地区の修理・修景補助事業



滝のツバキの樹勢回復事業

(3) 歴史的建物や史跡など文化財を整備活用し、地域の歴史文化を学ぶ機会を提供します。

- ・ 与謝野町加悦伝統的建造物群保存地区（加悦：国選定重伝建、通称「ちりめん街道」）
- ・ 地蔵山遺跡（幾地：京都府指定史跡）
- ・ 情報発信や学習会 等

(4) 文化財の保存・活用の指針「与謝野町文化財保存活用地域計画」を推進します。